

はんだこてなどを選ぶ

2019.05.23

トミー・マック

1. 要 点

おもちゃの修理のはんだこてを選ぶには、早く温まる、こて先温度を調整できる、こて先を選び交換できるなど使い勝手が大切です。少々高くなってもメンテナンスができれば逆にお得です。

修理するプリント基板や電気部品は小さいので、ワット数も 20W から 30W 位で十分です。

できれば専門メーカーの白光(株) (HAKKO) や太陽電機産業(株) (goot) を選べば、故障してもこて先やヒータなどのパーツも交換できます

2. 工 具

(1) はんだこて

(a) FX-600-02 HAKKO



- こて先温度を 200~500°C まで 6 段階可能。
- セラミックヒータ採用で急速加熱。
- 青色LEDの点滅で、こて先温度が分かる。(設定温度に到達すると消灯、下がると点灯。)
- 交換こて先が 30 種類以上オプション。
- 交換ヒータなどもオプション。



専用カバーがあれば、熱くてもやけどをしません。

(2) はんだ



太さが 0.8~1.0mm のヤニ入りはんだの適当ですが、細かいリード線が多いので 0.8mm を用意します。少しずつ使うので少量を買います。

下写真の共晶はんだ(すず/鉛)が使いやすいです。同様のはんだが、100均でも売っています。



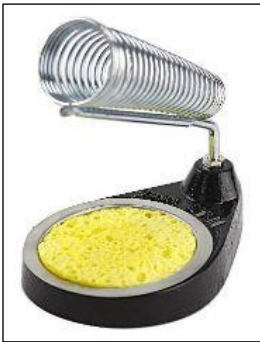
SD-82 goot

左写真は鉛フリー(すず/銀)はんだで、共晶はんだ(すず/鉛)に比べ、融点が 20°C~40°C 高くなり、流動性も悪くなり使い難いです。

FS-402-02 HAKKO

はんだこてなどを選ぶ

(3) はんだこて台
机置き



goot TQ-77



HAKKO FH300-81



HAKKO 633-01



100 均で 200 円
台が軽くて倒れやすい

持ち運び折り畳み



HOZAN H-8



goot ST-30

(3) こて先リフレッシュ (こて先復活剤)



HOZAN F S-100



goot BS-2

黒くなったこて先を還元し、はんだの乗りを復活します。

(4) ステンレス用フラックス

ステンレス製の電池金具のはんだには、ステンレス用の
はんだとフラックスセットか、ステンレス用フラックスを
使います。



BS-4A goot BS-4500

終わり